

かがや 輝く女性の 転身ストーリー

from ヒューマンアカデミー

学んで夢を叶えたい——ひたむきに前進する女性にフォーカス！

Vol.2 日本語教師 岩本 恵子さん

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:磯村 英孝 以下ヒューマンアカデミー)では、社会人向けに様々なジャンルの講座を開講し、未来のプロフェッショナルを多数輩出しています。特に目立つのが若い女性のキャリアアップ志向と行動力。彼女たちの活躍は同年代の女性を勇気づけ、挫折しそうな気持ちを奮い立たせます。

今後、ヒューマンアカデミーの講座を受講された方のなかから、夢の実現に向けてひたむきに頑張っている女性を毎月1名ずつご紹介していきます。第2回目は、日本語教師として活躍されている岩本恵子さんです。

日本語が母国語ではない外国人に対して日本語を教える日本語教師。海外との掛け橋となり社会的貢献度も高く、20代、30代の女性が多く活躍するフィールドです。ヒューマンアカデミー日本語学校東京校にて、講師として教壇に立つ岩本恵さんは、前職は靴メーカーにて販売、人事、バイヤーを歴任。畑の違う日本語教師になろうとしたきっかけは、社会人になってから通った英会話学校の講師との出会いでした。

「その講師は日系人で両親共に生粋の日本人なのですが、アメリカで育ったため、全く日本語が話せなかったのです。外見は日本人なのに日本語が話せない。性格もアメリカ人そのもの。育つ環境と言語がアイデンティティに及ぼす影響の大きさに強いショックを受けました。その方に手探りで日本語を教えるうちに『日本語教師』という職業があることを知りました。実はそんな職業があることも知らなかったんです(笑)。私自身、以前から海外の文化に興味を持っていて、大学の国際文化学部で異文化コミュニケーションを専攻し、アメリカに留学したこともあります。この出来事を通して、今度は自分から海外の人たちに日本の言語やそれに付随する文化を伝えたい、という想いが俄然高まり、日本語教師になることを決めました。」



早速、日本語教師になるための講座をピックアップし、2004年10月、ヒューマンアカデミー横浜校で受講を開始。平日は勤務、土日を両日も受講に当てました。授業では宿題や課題も多く、平日の夜も勉強時間に費やすなど、勉強に追われる日々でした。



「正直、この選択には不安もありました。求人もそう多くないので、修了してすぐに就職先が見つかるかも定かではない……。でも、やってみなければ分からないし、年齢的にもまだまだ遅くないと考えて、思い切ってチャレンジしてみました。実際の勉強は、分野が幅広いので理解するのが大変でしたが、楽しかった印象の方が強かったですね。特に実習は面白かった！本番の授業さながらに進める模擬授業では、受講生が教師役と学習者役に分かれて、テーマに合わせて教材を準備したり、授業のアイデアや学生への態度をチェックしたり。その時の先生やクラスメイトからのフィードバックやアドバイスは、今、とても役に立っています。」



日本語教師養成講座を修了した 2006 年 1 月、スクールが主催する、日本語教師のための就職説明会に出席し講師募集の紹介登録をしました。選考を経て、めでたく採用が決定。着任先はヒューマンアカデミーのグループ校、ヒューマンアカデミー日本語学校東京校。同年 4 月に着任し、今は 2 年目を迎えてなお奮闘する毎日です。

「通常の授業は 4～9 月、10～3 月の 2 学期制です。1 日の授業で読む・書く・話す・聞くの 4 技能が身につくようにプログラムされています。担当しているクラスは 20 名で、学生は国籍も年齢もばらばら。国民性による違いよりも、学生それぞれの個性の違いを感じています。教える時に気をつけている事は、わかりやすくシンプルに。学生一人ひとりとコミュニケーションをしっかりとること。」

過去に人事部で社内研修を担当していたので、そのときの経験が教師にも活かされています。とはいえ、着任したての頃は初めてのことばかり。想定外の質問やリアクション、授業以外の相談もあり、とまどうことも多々ありました。

「加えて、授業の準備や宿題、課題の添削など、授業時間以外の作業が多いですね。授業内容も生徒のレベルに合わせて毎回変えるため、授業準備に費やす時間も長いです。すべての学生に毎回同じ内容で教えられたら・・・と思うこともありますが(笑)、同じ授業を続けていたら、きっと数年後には私自身が教えることに飽きてしまうでしょうね。」

忙しい毎日ですが、以前はリピートする事がやっとだった学生が自分の意見を言えるようになるなど、着実に上達していく様子を見てると、嬉しくてやりがいを感じ、苦勞が報われる気がします。



「意外かもしれませんが、学生がジョークを言うなんて考えていませんでした(笑)！形容詞を習うと冗談を言えるようになるんですよ。実際、クラスはみんなが自由に発言するフランクな雰囲気です。だまってホワイトボードに向かって、教師の話の聞いている・・・といった授業ではありません。外国人の積極性を肌で感じています。言語を学ぶことで、より密なコミュニケーションが可能になり、豊かな人間関係につながっていくことを、教えながら実感しています。」

岩本さんは、日本語教師としての経験を積みながら、将来は文化やコミュニケーションについて大学院で学び、より深い知識を身につけたいと考えています。未来への第一歩を踏み出し、着実にステップアップしている岩本さんにエールを送ります！

——— 岩本恵子さん プロフィール ———

1977 年生まれ、30 歳。山口県出身。大学では国際文化学部で異文化コミュニケーションを専攻。大学卒業後、靴のメーカーにて販売、人事、パイヤーとして買い付けなどを担当。同社を退職後、派遣社員として働きながら英語を習い始め、日本語教師の仕事を知る。2004 年 10 月よりヒューマンアカデミー横浜校にて、日本語教師養成講座を受講、2006 年 1 月修了。同年 4 月より、ヒューマンアカデミー日本語学校東京校にて、非常勤講師として勤務。養成講座を受講中に日本語教育能力検定直前対策講座も受講し、同年 12 月には日本語教育能力検定試験合格。

※ ご本人への取材・インタビューが可能です。ご希望の場合は下記連絡先にお問合せください。

★ヒューマンアカデミー <http://haa.athuman.com/>

1985 年の設立以来、25 万人以上の修了生を社会に輩出している、資格取得、キャリアアップの専門校。各種資格取得、就職・転職を目指す社会人・学生の方のための幅広い講座を開講。全国に 40 校舎、講座数は 800 講座以上のラインナップがあり目的に合わせた選択が可能です。また、修了後はグループ内にある総合人材サービス「ヒューマンリソシア」や外資系企業に強い職業紹介サービス「ダイジョブ」が就職、転職をバックアップ。専門のカウンセリングスタッフが適職相談から、就職指導まできめ細やかに対応します。

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

- 代表者 : 代表取締役 磯村 英孝
- 資本金 : 1億円
- 所在地 : 新宿区西新宿6-6-2 新宿国際ビル5F
- 売上高 : 174億3100万円(2007年3月期)

このニュースリリースに関するお問い合わせは・・・ヒューマンビジネスサービス(株) 広報:原・今野まで

TEL:(03)3345-4781 FAX:(03)3345-4780 E-mail: kouhou@athuman.com